



# マナビィつうしん

第 31号 令和4年 11月 24日(木)

## “パラスポーツ”をご存じですか？

「パラスポーツ」と聞いて、思い浮かぶ競技をあげてみてください。

多くの方は、パラリンピックの競技種目が思い浮かんだのかなと思います(ボッチャ、車いすバスケットボール、ゴールボールなど)。これは間違いではないのですが、もっと広く捉えて

障がいの状況(種別・程度・心身の状態)に応じて、安全性・公平性を保った上で実施できるようにルール・用具・区分等に工夫・配慮がなされているスポーツ

と考えるとどうでしょうか。全てのスポーツにおいて“誰もが参加できるかたち”にすることでどんなスポーツも“パラスポーツ”になります。

これは、障がい者スポーツ支援センターサンスポートまつもと指導員 矢崎 萌斗さんが9月に開催したスポーツ指導者講習会で講演して下さった内容の一部です。矢崎さんはさらにこう続けています。

**『パラスポーツは“障がい者 の スポーツ”から、“障がい者 と スポーツ”』**  
**という意識がたくさんの人たちに広がってほしいです！！**

そこで、パラスポーツに関わって、中信管内で活動されている団体について紹介します。

### 【パラ☆スポくらぶ】 松本市スポーツ推進課

「障がいのある人もない人もみんなで一緒に楽しめるスポーツ」をコンセプトに毎月1回実施しています。ボッチャ、フライングディスク、スラローム(車いす)など、いろいろな種目が体験できます。毎回、個人・友達同士・家族、いろいろな方の参加があります。



### 【フロアバレーボール】

松本盲学校の卒業生と加藤寛先生が中心となって活動しています。

選手として大会に出場されている方だけでなく、学校の先生や同じ職場の仲間、友達など、毎回初めて参加される方がいて、パラスポーツを通じて、人のつながりが広がっています。

